

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 5月 1日更新

事務事業名	外国語指導助手配置事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	宮川 里佳
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	5312
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 1	事業連番 11595	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	3名の外国語指導助手を市内3中学校に配置し、生徒の英語力の向上及び国際感覚を育む。また、市内7小学校へも月1~2回程度派遣し、児童の英語への興味を抱かせることにも活用する。平成31年度より委託契約から派遣契約に変更となったため、週4回学校に派遣している。週1回は小学校の派遣の日とし、各小学校に派遣しているため、中学校は週3回派遣している。
【業務の流れ】	①業務基本契約(3年間)を締結→②受託者から派遣された外国語指導助手により英語指導→③4ヶ月に1回程度、指導方針等のミーティング→④受託者より事業実績の受領→⑤毎月の委託料の支払い ※業者選定については、3年ごとに総合評価方式により決定する。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	学校より派遣日数を増やしてほしいという要望があっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	外国語指導助手 (ALT) 3名を市内小中学校に派遣し、英語授業の助手として活用した。 派遣頻度: 中学校各学級週1回、小学校各学級年3~6回	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 時間 ア: 各中学校での指導時間 イ: 各小学校での年間指導時間	予算の主な増減の理由 プロポーザルにより委託契約が確定したことによる委託料の減。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内中学校に通う中学生及び小学生	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 市内中学校に通う中学生数 人 イ: 市内小学校に通う小学生数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	外国のことや英語への興味を持ってもらい英語力の向上につなげる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 抽出した生徒のうちALTの授業を通して英語に興味をもったと答えた者の割合 % イ: 抽出した児童のうちALTと英語活動をするのが楽しみと答えた者の割合 %
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
英語への興味を持ってもらう事が、英語力の向上になり、結果学力が身につくことになるため		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	時間	1,200	1,200	880	880	880	880	880	880
	イ	時間	80	80	220	220	220	220	220	220
② 対象指標	ア	人	1,968	1,984	2,000	2,038	2,050	2,075	2,100	2,125
	イ	人	4,548	4,694	4,850	4,855	4,900	4,950	5,000	5,050
③ 成果指標	ア	%	41	40	70	76	70	70	70	70
	イ	%	61	55	70	94	70	70	70	70
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	12,636	12,636	14,127	13,538	13,662	13,662	13,662	13,662
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	1	3	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	140	270	100	270	100	100	100	0
(B) 人件費計	千円	553	1,064	398	1,070	398	398	398	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,189	13,700	14,525	14,608	14,060	14,060	14,060	13,662

事務事業名	外国語指導助手配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 成果指標については、外国のことや英語へ興味を持つことが、英語力の向上に繋がるため目標を達成させたい。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後更に委託業者（3名のALT）と小・中学校教諭との連携により、成果指標値を70%以上に上げたい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似の事務事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費としては市内3中学校にALTを各1人ずつ配置することと、空いた時間には7小学校への英語指導もしているの、成果を落とさずに事業費を削減することは難しい。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業務については委託しており、担当職員についても最小人員で対応していることから、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内全校を対象に実施しているので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 義務教育課程である中学校の授業なので、市が関与することは妥当である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

事務事業としては現在の内容で単年度繰り返し継続していくものとする。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					